

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)

1. 建物概要

建物名称	医療法人健周会 東新潟病院	
建設地	中央区 姥ヶ山274番地1	
用途地域	市街化調整区域	
建物用途	病院	
竣工年	2014年3月 予定	
敷地面積	17,518.57 m ²	
建築面積	1,806.77 m ²	
延床面積	6,397.46 m ²	
階数	地上4階(PH1階)	
構造	RC造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2012年5月31日	

2. CASBEE新潟の評価結果

	A	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{54}{36} = 1.5$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.5		バリアフリー	3.0
			維持管理	4.5
			更新性	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	3.2		耐震・免震	3.0
			信頼性	3.4
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.0		建物の熱負荷抑制	3.0
			自然エネルギー利用	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	4.7		節水	4.0
			リサイクル材の使用	5.0
			再利用可能性向上	5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	2.5		生物環境の保全・創出	2.0
			敷地内温熱環境の向上	3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	3.0		まちなみ・景観への配慮	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	3.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

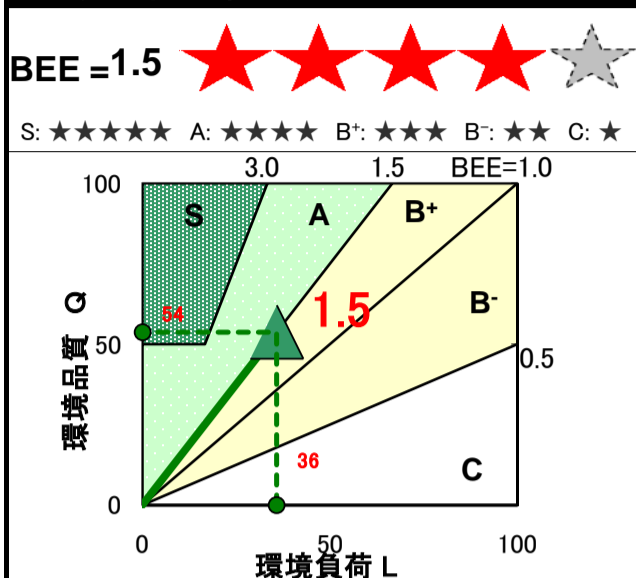
高齢者に配慮したバリアフリー施設であると共に、患者・スタッフ・サービスの動線を分離し、誰にでも使いやすい施設としています。共用廊下を全面自然排煙とした他、東日本大震災の被害を踏まえ、天井下地等の耐震性向上を図るなど、安全性にも配慮した計画としています。

CASBEE®新潟

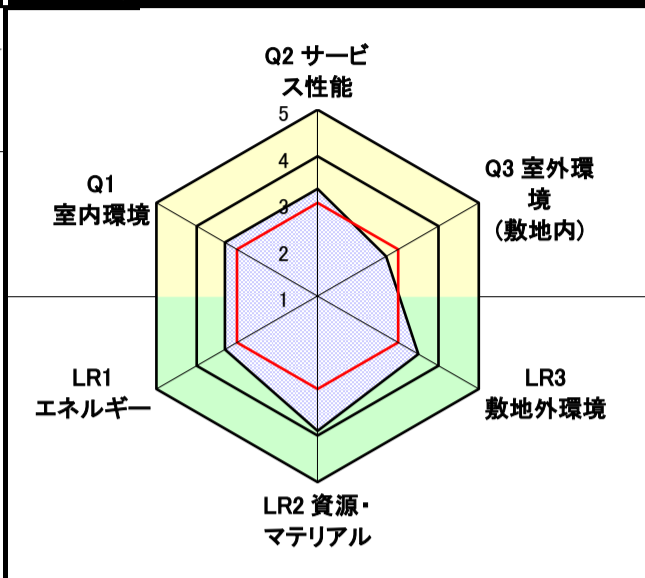
評価結果内訳

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)

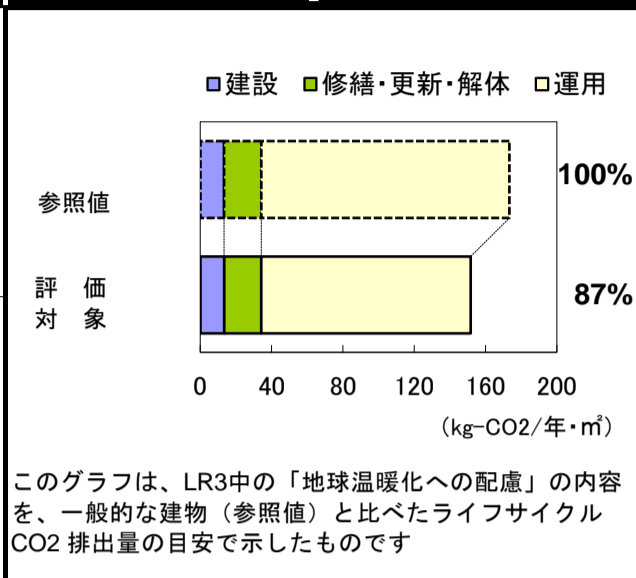
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



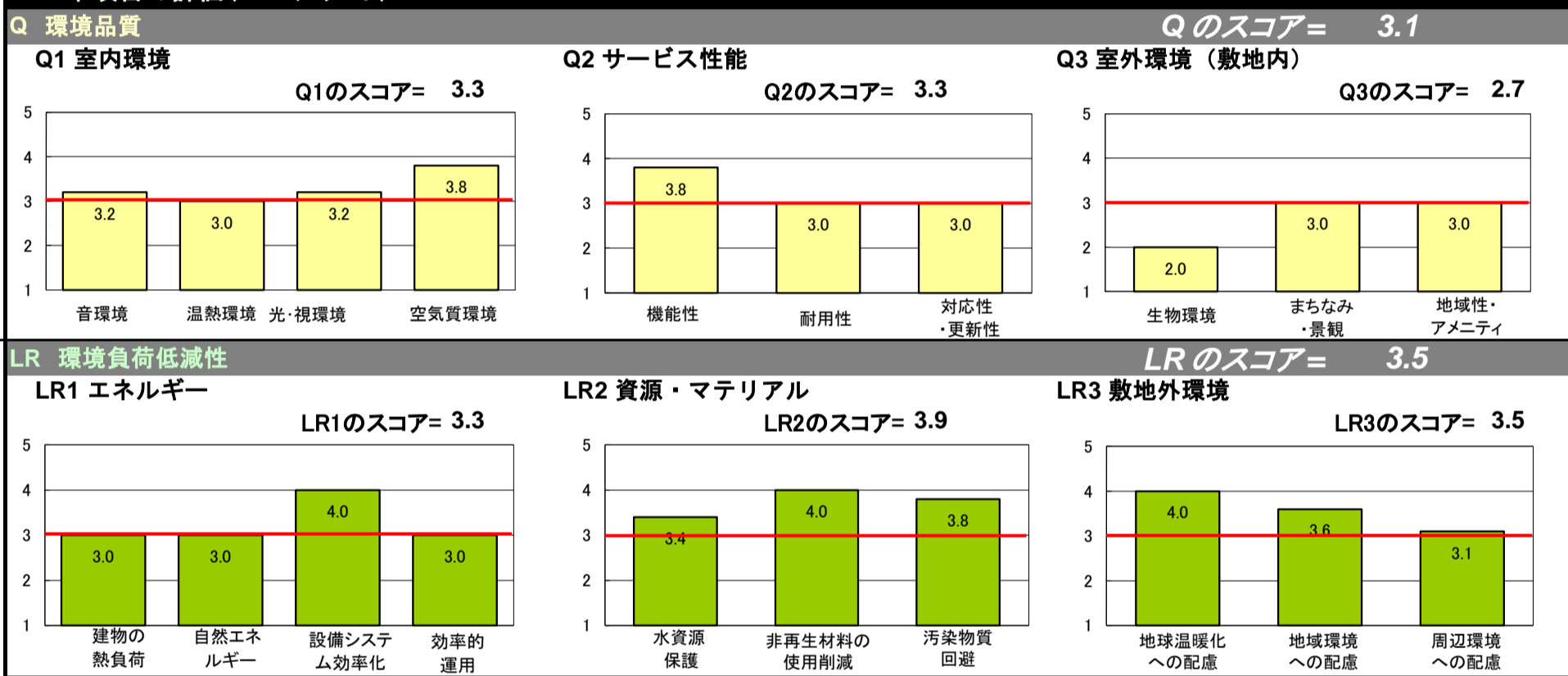
2-2 大項目の評価(レーダーチャート)



2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



2-5 設計上の配慮事項

総合	その他	
総合病院の増築計画。老朽化した既存施設に対し、新棟増築、既存棟改修・解体を通して患者の療養環境改善と、スタッフエリアの効率化を図っています。また、運用しやすく、省エネルギーとなる設備計画を行います。		
Q1 室内環境 敷地がバイパスに面しているため、病室サッシは遮音性能T-2を採用し、療養環境に相応しい室内環境を確保するよう努めています。	Q2 サービス性能 病室の開口は出来る限り大きな面積となるよう計画し、寝たきりの入居者でも外部の様子を眺められるよう配慮しています。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地外周には緑地を設けて、建物利用者や地域住民が自然と触れ合えるよう配慮しています。
LR1 エネルギー 便所照明を人感センサーにするなど、エネルギーの効率利用を図っています。	LR2 資源・マテリアル 節水器具の採用により、資源消費の抑制を図っています。	LR3 敷地外環境 透水性舗装により、温熱環境へ貢献しています。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される